

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちゃれんじ元今泉教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 20日		～	令和7年 7月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 20日		～	令和7年 6月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 7月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節に応じたレクリエーション活動を行っている。	子どもの興味関心に沿った内容のレクリエーションを計画している。様々な活動を通して子どもの主体性や社会経験などの学びに繋がられている。	活動内容が固定化されていかないようバリエーションを増やし、子ども達が楽しめるよう努めていく。
2	支援スペースが広い。	活動部屋の広さを活かした運動療育やゲーム遊び活動等を行っている。	走る・跳ぶなどダイナミックな動きを行う為、安全点検を行い事故防止に努める。
3	生活空間を子どもにわかりやすく構造化された空間になっている。	絵カードや顔写真等を使用し視覚的にわかりやすい環境設定をしている。個別の騎乗課題等にて集中しやすいよう仕切りを準備している。	お子様に合わせて机や椅子のサイズを変更するなどして、より集中しやすい環境作りに努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内の環境的要因により指示が通りにくい部屋がある。	声が壁に反響して聞き取りにくい、伝わりにくくなっている。	壁に吸音材等を設置し子どもたちが過ごしやすい環境を整備していく。
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により保護者同士の交流の機会が設けられているなど、家族への支援がなされているか。また、きょうだい同士の交流の機会が設けられているかの項目において、わからないとの回答があった。	保護者への周知が不十分であった。	店舗公式LINEやInstagram、ホームページ、送迎時に直接ご提案等にて情報提供を行っていく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、その他の子どもと活動する機会が持てていない。	郊外活動や公園遊びにて会話等少しの交流はあったが、一緒に活動をする機会がなかった。	今後実施できるよう職員間で検討していく。